

## 常陸多賀駅周辺地区整備事業を進めています

市では、常陸多賀駅周辺地区の持続可能な魅力あるまちづくりを計画的に推進するため、令和2年3月に「常陸多賀駅周辺地区整備計画」を策定しました。

現在は、計画に位置付けた駅舎・東西自由通路の一体的な整備や東口広場・道路の整備、まちのにぎわい創出などに向け、地域の皆様と連携しながら、事業に取り組んでいます。今後は、これらの取組に関する情報を適宜、この『まちづくりニュース』でお知らせします。今回は、令和2年度に実施した事業の概要をお知らせします。

※駅周辺地区整備計画及び策定経過につきましては、日立市ホームページからご覧いただけます。

市HP・整備計画：[https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/014/010/seibikeikaku\\_sakutei.html](https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/014/010/seibikeikaku_sakutei.html)

市HP・策定経過：[https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/014/010/seibikeikaku\\_sakuteikeika.html](https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/014/010/seibikeikaku_sakuteikeika.html)



(整備計画)



(策定経過)

### (1) 意見交換会の開催(令和2年6月～9月)

令和2年3月に策定した常陸多賀駅周辺地区整備計画を皆様にお示しするとともに、まちづくり及び施設整備などに関する皆様の意見をお伺いし、駅前に望まれる機能のイメージなどを整理しました。

#### ▽意見交換会の様子



#### ▽対象団体

- ・コミュニティ(8学区)  
(成沢、油縄子、諏訪、大久保、河原子、塙山、大沼、金沢)
- ・商店会(5団体) (千石、常陸多賀中央、さくら町、多賀駅前、多賀銀座)
- ・地域団体など(10団体)  
(JA日立市多賀、社会福祉協議会、PTA母親委員会、日立女性フォーラム、多賀三業料飲組合、NPO法人インパクト、NPO法人with you、女性起業家、若手起業家、茨城大学学生)

#### ○意見交換会でいただいた意見の要旨

##### ■駅周辺施設■

- 駅前で生鮮食品が買える場所がないので不便
- 学習室・図書館の機能、保育園などの子育て支援機能があると便利

##### ■自転車・駐車場の利用■

- 西側広場周辺では歩行者と自転車の動線が錯綜して危険。自転車利用の環境改善が望まれる
- 駅での送迎をするため、駐車帯や駐車場は十分な量が必要である

##### ■駅舎・自由通路■

- 送迎のしやすい施設。過大にならずコンパクトな施設、身の丈にあった施設にしてほしい
- 待ち合い機能は必要不可欠。駅で時間を過ごせる場所がほしい

##### ■まちづくり活動の推進■

- ハードの整備とあわせてソフト事業の展開が重要
- マイクロクリエイションオフィスなど、チャレンジしている人たちが多いたのが常陸多賀の特徴

##### ■ひたちBRT・道路ネットワーク関係■

- BRTの利便性を高めるためには、病院や学校などの施設へのルートを確保する必要がある
- 通勤道路や旧国道、中央線など、駅周辺エリアから駅へのアクセス経路の維持改善も重要



## (2) 駅利用者アンケートの実施(令和2年12月～令和3年1月)

駅利用者のニーズを把握するため、Webアンケートを実施しました。  
アンケート結果を参考にしながら、駅及び周辺施設整備の検討をすすめます。

### ■実施方法及び対象者

- (1) インターネットを利用したウェブアンケートにより実施
- (2) アンケート協力を促すポスターやチラシを常陸多賀駅、日立駅、大甕駅に掲示
- (3) 常陸多賀駅周辺の企業や大学、高校などへの協力依頼など

### ■主なアンケートの設問

- (1) 新たな駅舎に必要な「空間」・「店舗」について
- (2) 駅舎と駅前に望む機能について など

### ■アンケート集計結果 (回答者数:611人)

## 常陸多賀駅のいま



課題

- ・改札付近、駅前ロータリーとも混雑を感じる利用者が多く、朝晩の混雑解消が課題となっています。
- ・駅前をもっと明るくしてほしいという声が多く、また、多くの利用者が駅周辺の歩行者と自転車の安全な交通環境を望んでいる現状を把握出来ました。
- ・設定した評価項目以外にも、海側に直接出られる改札がないことや、待合機能の不足、駅前が寂しい、ロータリーの送迎スペースが不足しているなど、具体的な課題について幅広く意見をいただきました。

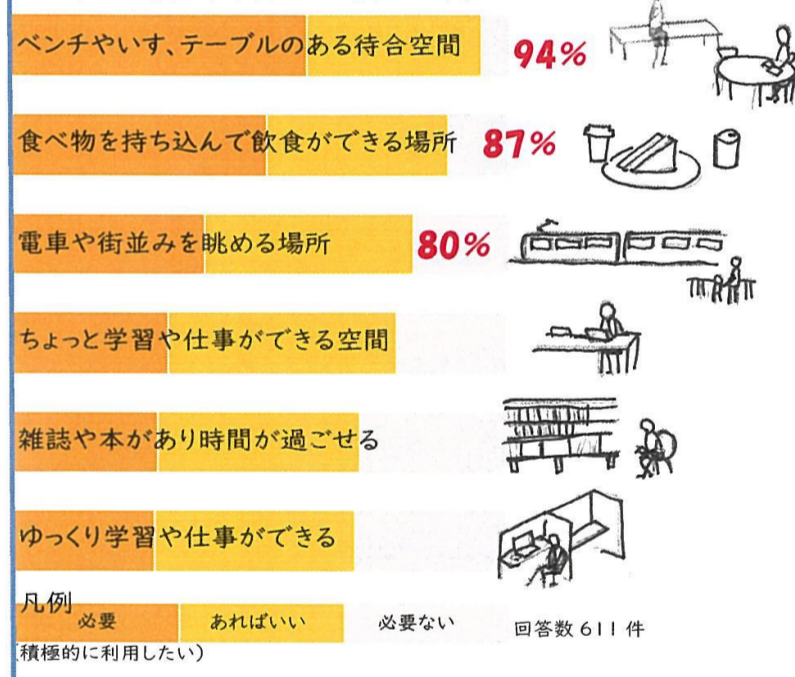


評価

- ・ラウンドアバウト交差点についての評価が高く、交通がスムーズでよい、使いやすい、景観がよいなどの評価を数多くいただきました。

## 新しい常陸多賀駅に必要な機能は

図 新しい常陸多賀駅に必要な空間



「新しい常陸多賀駅に必要な空間」では、「ベンチやいす、テーブルのある待合空間」や「食べ物を持ち込んで飲食ができる場所」を望む意見を数多くいただきました。

お店については、「ゆっくりできるカフェ」、「コーヒースタンド/テイクアウトの店」、「朝晩の時間帯にお弁当やお惣菜が買える店」に高い需要があることがわかりました。

設定した評価項目以外にも、「海側に直接出られる改札を設置してほしい」、「24 時間営業のコンビニエンスストアがほしい」などたくさんのご意見をいただきました。

## 常陸多賀駅と駅前に必要なものは

駐車場機能への需要が多く見られたほか、「緑豊かな憩いの空間」、「日用品や雑貨、化粧品が買える場所」については、居住地や利用頻度を問わず様々な世代の方から立地を望む声をいただきました。

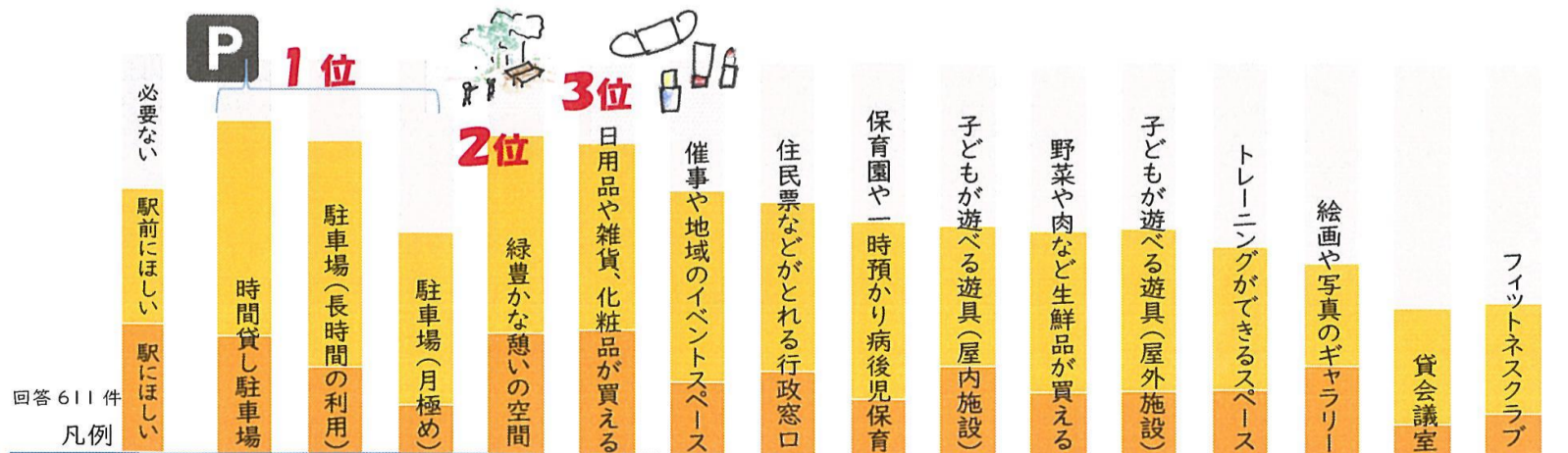


図 駅と駅前に必要な機能

※アンケート調査の概要、各項目の集計結果については、日立市ホームページからご覧いただけます。

市HP・アンケート結果：<https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/014/010/p092968.html>



### (3) まちづくり講座等の開催(令和2年11月～3月)

まちの賑わい創出と持続可能なまちづくり体制の構築に向け、まちづくり人材・組織育成支援の観点から、まちづくり講座を開催しました。

また、講座を契機に任意まちづくり団体「Go On常陸多賀」が発足し、団体が主催する街なか活性化イベントの開催を支援しました。

#### 1 まちづくり出前講座の開催(2回開催)



(第1回:令和2年11月25日 大久保交流センター)

第1回講座 講師：認定NPO法人日本都市計画家協会、内山 征氏

内 容：「地域主体のまちづくり」をテーマとした講演及びまちづくり活動の事例紹介(笠間市・平塚市)

参加者：地域の若手事業者や茨城大学工学部の学生など約20人

第2回講座 内容：学生から「まちに賑わいを生み出すための”まちと学生のマッチング”」について提案がなされ、具体的な取組として常陸多賀駅前での「まちづくりイベント」の開催を決定

参加者：地域の若手事業者や茨城大学工学部の学生など約20人

#### 2 常陸多賀DIYイベント

令和3年3月21日から1週間にわたって、茨城大学工学部の学生グループを中心とした講座受講生が主催する「常陸多賀DIYイベント」が開催されました。



(会場入口:DIYイベントのチラシと机・イスの見本)



(休憩・交流スペース:常陸多賀地区の飲食店情報などを掲示)



(商店との連携:常陸多賀ロゴマーク商品のPR)

#### 【イベント内容】

- 駅周辺での来街者の交流・滞留を目的とした学生デザインの机・イスの制作と配布
- 「学生とまちのマッチング」に重点を置いた、常陸多賀地区の飲食店情報やまちづくり活動などについての情報発信
- 来街者の交流を促進するため、駅前の空き店舗を活用して、誰でも利用できる休憩・交流スペースを設置
- 街なかでの居場所づくり(プレイスメイキング)をテーマとしたワークショップ(専門家からの事例紹介と意見交換)の開催

地域事業者の指導のもと、学生がデザインした机・イスを試行錯誤しながら自らで制作しました。

製作された机とイスは、常陸多賀地区の飲食店などのご協力のもと、イベント最終日に地区内の8か所に設置されました。



(イベント中に行われたワークショップの様子)



(学生たちが指導を受けながら机・イスを制作)



(制作した机・イスを協力店舗に設置)

講座及びイベントを契機に、受講者による任意のまちづくり団体「GoOn(ゴーオン)常陸多賀」が発足し、今後も継続的に常陸多賀地区でのまちづくり活動に取り組んでいくことになりました。

## (4) 施設整備計画

駅周辺道路の将来交通量推計などを行い、駅周辺道路ネットワークの整備方針を整理しました。

### ■ひたちBRTの運行ルート

|               |  |
|---------------|--|
| 現行ルート及び延伸ルート  | ひたちBRTは、2019年4月に大みか駅～常陸多賀駅間での本格運行を開始し、今後は日立駅までの運行ルート延伸が計画されています。   |
| 常陸多賀駅周辺の運行ルート | 延伸計画の実現に向け、常陸多賀駅周辺の運行ルートを、現在の「河原子」停留場から、沿道に商店などが立ち並ぶ、県道笠間線～常陸多賀駅東口～大学通りに至る計画として、東口広場や道路などの必要な施設の整備を行う予定です。 |

※常陸多賀駅以北のルートは、多賀高校や茨城大学工学部、市民運動公園などが立地する中央線を利用する計画として検討がすすめられており、ひたちBRTの更なる利便性向上が期待されます。

### ■駅周辺道路の整備方針

#### ① 駅前の交通混雑解消

|                  |  |
|------------------|--|
| 東口交通広場の整備(下図:1)  | 駅の東側に新しく広場を整備し、駅東西からのアクセス向上と交通の分散を図ります。  |
| 南北アクセス道路の整備(同:2) | 駅西側の交通は、駅利用者に加えて、通過交通(大学通り～通勤道路区間など)が集中し、混雑しています。クルマの流れを駅東西に分散させるため、駅東側からJR線路を跨いで大学通りに接続する「南北アクセス道路」を整備し、BRTの運行ルートとしても活用しながら、駅周辺での交通混雑解消を図ります。 |



JRアンダー部の混雑状況

#### ② 良好な道路ネットワークの形成

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 都市計画道路の整備(下図:3)<br>(関口間々下線の整備) | 南北アクセス道路の整備にあわせて、都市計画道路(関口間々下線)の未整備区間を整備し、駅周辺を環状型に結び、良好な道路ネットワークの形成を図ります。 |
| 河原子海岸アクセス道路の整備<br>(同:4)        | 新しく整備する駅東口の広場から、河原子海岸方面へのアクセスを強化するため、河原子海岸アクセス道路を整備(現道を事業所側に拡幅予定)します。     |



日立笠間線アンダー部(冠水時)

#### ③ 防災性の向上

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| JR線路を跨ぐ高架式道路の整備(下図:5 南北アクセス道路の一部) | 線路東西の市街地を結ぶ幹線道路として、北側にさくら通り(大学通り-R245号間)と、南側に県道日立笠間線がありますが、どちらもJR線路をくぐるアンダーパス構造になっていることから、南北アクセス道路はJR線路を跨ぐ高架式で整備し、防災性向上を図ります。 |
|-----------------------------------|---|

### ■令和3年度の事業

引き続き、地域の皆様と連携しながら、上記施設整備の設計作業や道路整備に関する地権者説明会を開催するほか、駅周辺における一体的な空間デザインの形成に向けた、駅舎及び駅周辺のデザイン監修者の選定、賑わい創出に向けた西側駅前エリアの土地活用方針などを検討していきます。今後も、皆様のご協力をお願いします。

### ■常陸多賀駅周辺地区整備事業における施設整備イメージ

にぎわい再生に向けた西側駅前での一体的な土地活用を検討

※「現市有駐車場～東西自由通路周辺～駐輪場エリア」の活用による一体的・連続的な魅力ある賑わい空間形成

お問合せ・ご意見は…日立市 都市建設部 常陸多賀駅周辺地区整備担当

一般電話 0294-22-3111(代表) 内線756 / IP電話 050-5528-5092(直通) / E-mail tagaeki@city.hitachi.lg.jp

